

PRO'S Products NOVEMBER

Photo : Murayama Shinori



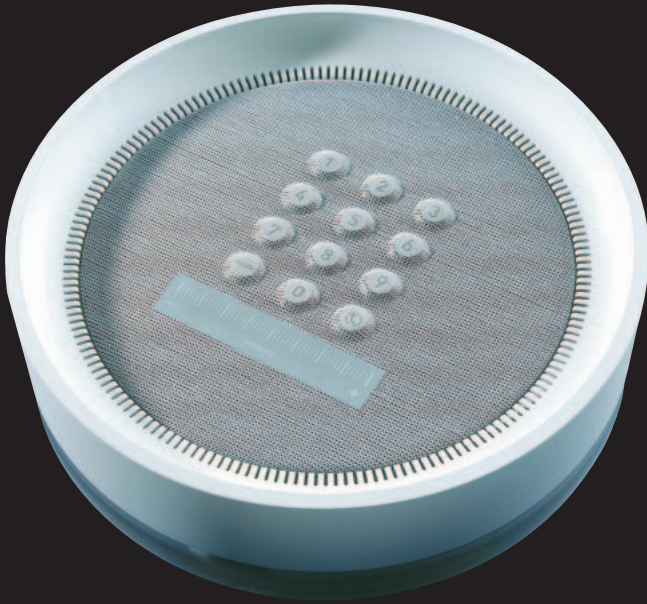
グラフィカルに構成された新方式キーボード [Whole Tone Revolution]

メーカー 株式会社東京優勝

URL www.chromatic-keyboard.com

TEL 03-3423-4611

念のために申し上げておくと、これは音楽用キーボードだ。この見慣れない配列は何を意味しているのか？ その疑問は実物に触ってみればあっさりとお水解する。要は、斜めに隣接する鍵は半音を成し、横方向に隣接する鍵は全音を成すように配列されているのだ。従来の鍵盤が八長調を基準に、白鍵と黒鍵に分けて配置しているのに対して、このホールトーンは12音すべてを対等に扱えるように構成されている。この配列には、移調しても運指を変える必要がなく、単に腕を平行移動するだけで済むというメリットがある。複雑怪奇に見えるキーボードは、実は非常に論理的かつシンプルなものだ。音階の仕組みをビジュアル的に理解できる点も興味深い。
(クワクポリョウタ / デバイスアーティスト)



導電性テキスタイルが実現するインターフェイス革命
[conference telephone]

メーカー ElectroTextiles
URL www.elektex.com

「ElekTex」は、英国のElectroTextiles社が開発した機能性の布地。誘電性繊維を普通の布に織り込んであり、圧力センサーを組み込んだタッチスクリーンのようにスイッチやボリュームのような機能を実現する。写真は音声電話会議用機器。通常ならスピーカーの保護用ネットの部分に、電話用テンキーとスライド式のボリュームが編み込まれている。(今泉 洋 / 武蔵野美術大学デザイン情報学科教授)



三位一体のヘッドフォンステレオ
[NW-E8P]

メーカー ソニー
URL www.sony.co.jp
TEL 0570-00-3311

ヘッドフォンステレオ = 本体 + コントローラ + ヘッドフォン。その3要素を1つにまとめたのがこれ。ある意味、ヘッドフォンステレオの究極的な姿といえる。すべてを耳に装着できてしまうので、今までのような煩わしさとも無縁だ。今後はこういう形が常識になるのかもしれない。ウェアラブルである性質上、多少ユーザーの耳を選ぶようだ。S、M、Lとか、サイズが選べれば最高なんだけど……。 (クワクポリョウタ)

まるいことは良いことだと思う
[Bluetooth Digital Camera]

メーカー 株式会社東芝

URL www.toshiba.co.jp/design/

これはデジカメのコンセプトモデル。Bluetoothでデータ転送が可能というトピックもさることながら、この人なつこい形状に魅力を感じる。カメラのフォルムが被写体に与える影響は意外に無視できない。大きなレンズを備えた物々しいカメラで狙い撃ちすると、こんなかわいらしいデジカメでさりげなく撮るのとは、被写体がプロでない限り、俄然対応が違ってくる。このまるいボディはデジカメの持つ「気楽に撮る / 撮られる」というスタンスを上手く引き出すフォルムだと言えるだろう。
(クワクポリョウタ)



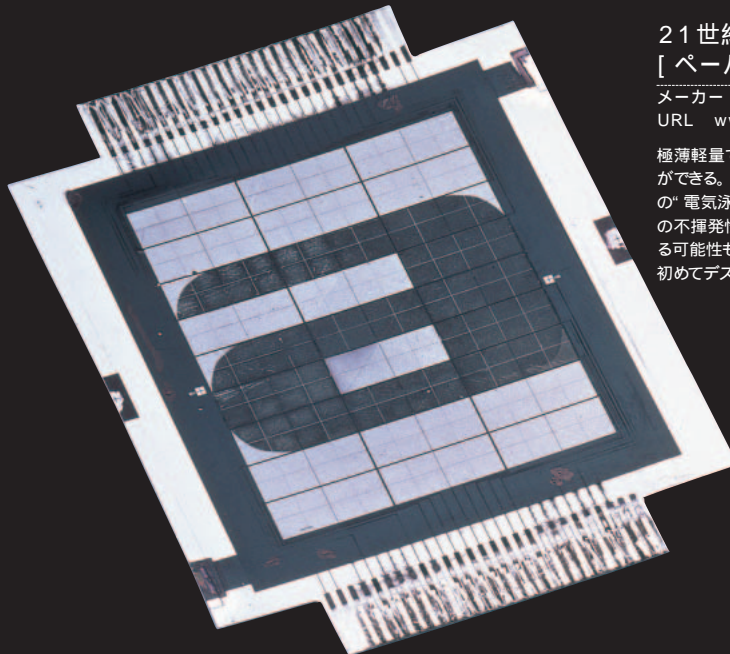
PRO'S Products
NOVEMBER



印刷メディア上に登場する映像の「どこでもドア」 [News Sync]

メーカー 株式会社NECデザイン
URL www.nec-design.co.jp

「インターネットで本がなくなる」といった具合に、デジタル技術とは対立的に語られることの多かった印刷メディア。一方、メディアの革命と評されるハイパーテキスト機能もPCやPDAという世界の中に閉じられていた。こうした限界を印刷メディアとの融合によって打ち破ろうというのがこの「News Sync」。新聞・雑誌の記事上に印刷されたマークの上にかざすと、自動的にリンクされた動画が再生されるという仕組み。実現すれば情報探検がますます楽しくなる！
(今泉 洋)



21世紀のデスクトップを実現する新ディスプレイ [ペーパーライク・ディスプレイ]

メーカー キヤノン株式会社
URL www.canon.co.jp

極薄軽量で、紙のように気軽に見たり読んだりでき、しかも電子的に書き換えができる。以前から語られてきた理想に一歩近づいたのが、キヤノンが開発中の“電気泳動現象”を利用したEPD方式ディスプレイ。書き込み後は電源不要の不揮発性・反射型表示・フレキシブルと電子出版ビジネス離陸の引き金となる可能性も高い。さらに複数枚をウィンドウ枠として机上に展開すれば、我々は初めてデスクトップメタファーから解放されることになる。
(今泉 洋)



多用途を見据えた音声端末
[Bluetooth Stereo Headphone]
[Bluetooth Audio Player]

メーカー 株式会社東芝
URL www.toshiba.co.jp/design/

こちらはデジカメと同シリーズのオーディオ・プレイヤーとヘッドフォン(P.260参照)。ヘッドフォンはBluetoothでプレイヤーとつながり音楽を楽しめるほか、パソコンや携帯電話をソースにすることも可能となっている。ヘッドフォンにはフリップ式に飛び出るマイクも付いている。これは携帯電話との運動を考慮してのことだろう。オーディオに限らず、さまざまな用途に対応する音声汎用端末としても機能しそうだ。
(クワクポリョウタ)



着脱自在なプロテクター
[ProG4B&ProG4S]

メーカー 株式会社バード電子
URL www.birdcom.co.jp
TEL 044-854-0198

最近ではヘビーデューティー感より高級感をアピールしたノートパソコンが増えてきている。そうなってくると持ち運びの際に傷でも付きやすいか、満員電車の中でボディが歪んだりしないか、と少々気がかりになる。これはそんなときのためのPowerBook G4用のアルミ製プロテクトカバー。筐体強度に不安を感じるのであればこうしたアイテムを活用するが良いだらう。取り付けは粘着力のある樹脂で行い着脱自在。頻繁な取り外しを前提とした仕様になっている。
(クワクポリョウタ)



ソニーの放つ「トロイの木馬」
[Infostick Bluetoothモジュール]

メーカー ソニー株式会社
URL www.sony.co.jp

比較的少量のデータを簡単に扱うメモリーカードの規格として登場した「メモリースティック」。規格を提唱したソニーは、自社のほとんどの情報機器にこの機能を盛り込むことで、幸先の良いデビューを飾った。だが本当の狙いは、次のステップにあるようだ。つまり、この基本仕様と端子形状を備えた多様な拡張モジュールを開発し、メモリースティックを装備した各機器に新たな機能を追加することで、家電製品をよりインテリジェントな存在に変えていこうというもの。その中でも各機器を無線でネットワークし、情報環境をデバイス群の「タスクフォース」として実現しようという「Infostick Bluetoothモジュール」構想からは目を離せそうもない。
(今泉 洋)



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp